

意 見 書

本庄農業振興地域整備計画における将来ビジョン
について意見書を提出いたします

本庄市農業振興整備促進審議会

本庄農業振興地域整備計画に係る意見書について

本庄市農業振興整備促進審議会は、今後の本庄農業振興地域整備計画における将来ビジョンについて、委員の意見をまとめましたので、ここに意見書として提出します。

1. はじめに

平成25年の本庄及び児玉農業振興地域整備計画の統合から10年が経過し、農業振興においても様々な取り組みがされ、一定の成果をあげてきましたが、今後も少子・高齢化や人口減少による影響、さらには農業従事者の減少や耕作放棄地の増加などが危惧されています。

私たち本庄市農業振興整備促進審議会委員は、今後の時代の変化に柔軟に対応し、将来を見据えた、本庄農業振興地域整備計画の将来ビジョンについて検討いたしましたので、今後の農業の持続発展と共に農用地等の利用の最適化に向け、施策の参考となりますよう以下の意見を付して提出いたします。

2. 現状について

(1) 本庄地域

・本庄北部地区

当該地区は、主に上里幹線、備前渠用水系にあたり、田畑が混在した形での土地利用が行われている。ほ場整備は、藤田地区の一部を除いて、県営ほ場整備事業や県営畑地帯総合土地改良事業等の土地基盤整備が行われた。利根川沿いには肥沃な土壌に恵まれた農地と集落が広がっており、ほ場は、汎用耕地化を図り、路地や施設野菜を中心とした農業が広く営まれている。

現在、国道17号の交通の円滑化と地域の活性化等を目指して、深谷市や群馬県高崎市をつなぐ、本庄道路の整備が進められている。

・本庄南部地区

当該地区は、主に上里幹線、九郷用水系に田畑が混在した形で土地利用が行われており、大久保山などの緑地や優良農地が広がる田園などの環境に恵まれた地区である。本庄早稲田駅周辺地区の市街化区域によって、農用地は東西に分断されている。ほ場整備は、県営ほ場整備事業や県営畑地帯総合土地改良事業、国営かんがい排水事業等の土地基盤整備等が行われた。また、栗崎地区において現在整備中である。西側地区では水田が広く分布し、東側地区では畑が多く配置されている。東側地区では一部未整備地区が点在する。

(2) 児玉地域

・ 児玉北部地区

当該地区は、九郷用水系及び美児沢用水系に属する平坦部の農用地は、中央に田が集約してその周辺に畑が配置した形で土地利用されており、集団の優良農地が広がっている。ほ場整備は、県営ほ場整備事業や県営かんがい排水事業が行われ、ほとんどの地区が整備済みである。

国道254号線や462号線周辺一帯は、優良農地が広がり、児玉駅周辺は文化財施設等やこだま千本桜などがあるため、田園環境と調和のとれた産業基盤と交流機能の充実を図っている。

・ 児玉南部地区

当該地区は、九郷用水系及び児玉幹線用水系に属する国道462号線から北へ神川町に接するまでの平坦地は水田として土地利用され、国道462号線から南の丘陵地帯も水田、畑、樹園地として利用されている。ほ場整備は、金屋地区と生野地区の一部で国営かんがい排水事業や県営かんがい排水事業、第二次農業構造改造事業が行われたが、その他の地区はほとんどが不整地なほ場である。本地区はほとんどが森林地域で、山間を小山川が流れ、これに沿って走る県道秩父児玉線沿いに山村集落が広がっている。

3. 各地域の意見について

(1) 本庄地域

- ・国道17号バイパス（本庄道路）沿道に農協の直売所や道の駅（複合型）の誘致を行い、本庄市のPRや魅力的な地域づくりを視野に入れた開発を検討する。
- ・国道17号バイパス（本庄道路）は、本市農業振興を含めた地域振興に寄与する反面、整備済み農用地の減少・分断によって農用地等の利用の最適化に支障を及ぼす恐れがある。
- ・今後、人口減少および農業耕作者の高齢化はますます深刻な問題となる。そのため、農業法人等の事業法人化を推進し、農地の大区画化や農地集約、遊休農地解消に努める。
- ・地域計画の目標達成に向け、農地中間管理事業や多面的機能支払制度を活用し、地域資源や農用地の保全に努め、農地規模拡大に取り組む担い手への農地継承に向けて迅速な取り組みを行う。
- ・農地中間管理事業や農地作物履歴等を活用し、効率的に担い手に集積されるシステムの構築に努める。

(2) 児玉地域

- ・国道462号線沿線や金屋地区の環状線沿線は、産業開発および生活利便性向上のため青地から除外し、地域活性化が図れるよう検討する。
- ・児玉南地区の山間部の優良農地となる地区は土地基盤整備を行う。また、同地区の飛び地や狭小地の白地は青地編入し、集団性のない青地は除外することで農業生産性の向上と地域活性化を図る。さらに人口拡大や地域発展を視野に入れ、道路の沿道には田園住宅、その周辺には公立公園等の建設を検討する。さらに同地区の食品工業周辺は青地から除外し企業誘致を推進する。
- ・地域計画の目標達成に向け、農地中間管理事業や多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度を活用し、地域資源や農用地の保全に努め、農地規模拡大に取り組む担い手への農地継承に向けて迅速な取り組みを行う。
- ・道の駅や地元農産物をPRできる観光施設（こんにゃくパーク等）を設置し、野菜のブランド化や地域振興に繋げる。

令和7年12月2日

本庄市農業振興整備促進審議会
会 長 田 島 敏 包

構成審議会委員

堀口 伊代子	本庄市議会
小林 猛	本庄市議会
田端 講一	本庄市農業委員会
細野 俊文	本庄市農業委員会
内田 新一	本庄市農業委員会
金井 清子	本庄市農業委員会
五十嵐 雅樹	埼玉ひびきの農業協同組合
岩上 高男	児玉土地改良区
田島 敏包	金屋土地改良区
宮部 勝利	生野土地改良区
津久井 伊久弥	本庄北部土地改良区
立石 勝義	栗崎向田土地改良区
五十嵐 清美	本庄商工会議所